

上関地点 平成29年度 下半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。

陸生、海生生物については、過去の調査結果と比較しても顕著な変化は見られていない。

項目		調査時期	調査結果概要									
水質	陸域工事排水の水質	10月12日 11月7日 12月6日 1月11日 2月13日 3月6日	水素イオン濃度、浮遊物質量ともに管理目標値内であった。			-						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>調査結果</th> <th>管理目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水素イオン濃度</td> <td>7.0~7.3</td> <td>5.0以上9.0以下</td> </tr> <tr> <td>浮遊物質量 (日平均値)</td> <td>5mg/L以下</td> <td>150mg/L以下</td> </tr> </tbody> </table>	項目	調査結果	管理目標値		水素イオン濃度	7.0~7.3	5.0以上9.0以下	浮遊物質量 (日平均値)	5mg/L以下	150mg/L以下
項目	調査結果	管理目標値										
水素イオン濃度	7.0~7.3	5.0以上9.0以下										
浮遊物質量 (日平均値)	5mg/L以下	150mg/L以下										
陸生生物	ハヤブサ	2月27日 3月13, 29日	鼻線島において、親鳥による抱卵行動を確認した。 なお、各月で雄、雌の親鳥を確認した。			写真1						
海生生物	潮間帯生物	10月16~18日	植物ではイシゲ、サビ亜科など31種、動物ではアマガイ、クロフジツボなど35種を確認した。			写真2						
	海藻草類		クロメ、サビ亜科など31種を確認した。									
	底生生物		サザエ、ムラサキウニなど5種を確認した。									
	スナメリ	10月、3月 (週1回・計8日)	確認回数は計12回、確認頭数は延べ26頭を確認した。			-						
	カクメイ科等の貝類	11月20~22日 2月5~6日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 タイドプール※2箇所のうち1箇所は、岩盤の崩落があり、引き続き崩落の恐れがあるため、1箇所調査を実施した。			-						

※タイドプール:干潮時に海辺の岩場にできる潮だまり

【参考】

《環境監視等調査計画以外の環境調査》

○カンムリウミスズメ(写真3)

1月に延べ65個体(長島の北、祝島の南東、天田島の南西、鼻線島の南、長島の東)を確認した。

○カラスバト(写真4)

計画地点において、1月に姿を確認した。

なお、鼻線島においては11, 12, 2, 3月に姿および鳴き声を確認した。

【調査写真】

写真1:ハヤブサ



(2月27日 捕食する親鳥雄)



(3月29日 巣に入る親鳥雌)

写真2:海生生物(10月16, 17, 18日)



イシゲ



アマガイ



クロメ



サザエ

写真3:カンムリウミスズメ



(1月15日 祝島の東)

写真4:カラスバト



(12月14日 鼻線島)

以 上